

さいたま市公民館運営審議会第5回会議 議事録

1 開催日時

令和7年3月13日（木） 14時00分から15時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 加藤 美幸 委員長
- ② 磯田 三津子 副委員長
- ③ 太田 祐子 委員
- ④ 加藤 恒 委員
- ⑤ 小森谷 由紀江 委員
- ⑥ 佐藤 一子 委員
- ⑦ 島田 正次 委員
- ⑧ 富田 敏弘 委員
- ⑨ 西形 恵美子 委員
- ⑩ 山口 哲生 委員

〈拠点公民館職員：9名〉

- | | | |
|-------|----------|--------|
| ① 西 区 | 指扇公民館長 | 内ヶ嶋 直哉 |
| ② 北 区 | 大砂土公民館長 | 武笠 充裕 |
| ③ 大宮区 | 桜木公民館長 | 茂木 深雪 |
| ④ 見沼区 | 大砂土東公民館長 | 岩井 由起子 |
| ⑤ 中央区 | 鈴谷公民館長 | 掛川 雅世 |
| ⑥ 桜 区 | 田島公民館長 | 熊木 元巳 |
| ⑦ 浦和区 | 岸町公民館長 | 秦 利明 |
| ⑧ 南 区 | 文蔵公民館長 | 桑原 健司 |
| ⑨ 岩槻区 | 岩槻本丸公民館長 | 石関 達 |

〈事務局：8名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|--------------|-------|
| ① 館長 | 岸 聖一 |
| ② 参事兼副館長 | 井出 浩史 |
| ③ 主幹兼事業・企画係長 | 山田 浩行 |
| ④ 事業・企画係主査 | 蜂谷 香織 |
| ⑤ 事業・企画係主査 | 曾根 啓佑 |
| ⑥ 事業・企画係主事 | 小暮 裕貴 |

- ⑦ 事業・企画係社会教育指導員 松本 みはる
- ⑧ 事業・企画係社会教育指導員 成尾 千里

4 欠席者

〈委員：3名〉

- ① 大塚 晶子 委員
- ② 小林 玲子 委員
- ③ 白石 徳一郎 委員

〈拠点公民館職員：1名〉

- ① 緑 区 大古里公民館長 酒井 浩志

5 事務局からの報告、説明等

- ・前回会議録について

6 配布資料

- (1) さいたま市公民館運営審議会第5回会議 次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第5回会議 席次表
- (3) さいたま市公民館運営審議会第4回会議 議事録
- (4) 事例発表資料
- (5) 公民館ビジョン取組評価シート

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 内容

- ・冒頭、事務局より前回会議録について報告を行った。

議題 「公民館ビジョンに基づく取組の評価について」

公民館のプレゼンテーションを聞き、協議し、評価を行うまでを体験した。

【グループ協議での主な意見】

Aグループ

- ・地域の実態に合った講座で必要性が高いので、結果を基に改善していくとよい。
学校との連携はチャレンジスクール等の機会を活用するとよい。
- ・水害など、地域の課題を考えるうえでよい取組である。
中学生は楽しくないと参加しないので、ゲーム的な要素が取り入れられるとよいと思う。
- ・中学生が高齢者のみならず災害弱者に手を差し伸べることが期待できる。
参加者が主体的に取り組めるようワークショップ等の工夫をしてみてもどうか。
- ・前年度の反省を踏まえて実施し、参加人数が増加しているのが素晴らしい。
募集においては、手紙とデジタルデータを併用するとよいと思う。
- ・地域の実情を踏まえた着眼点と、青少年育成会とのコラボというきっかけづくりがよい。
参加学習会としてのレベルアップに努め、地道に対象を広げて欲しい。

Bグループ

- ・子どもと保護者がともに学びあえる楽しそうな企画だと思う。
この企画からさいたま市への興味関心へ発展させていくことが課題だと考える。
- ・他ではできない学びができていると思う。
学んだことを共有する時間が取れると、さらに学びを深めることができるのではないか。
- ・親子参加、博物館等との連携を行うことで、参加意欲を高める取組となっている。
ただ、公民館ビジョンに掲げる「人づくり」の取組として、この事業の意義や成果をどう評価するのかについて、もっと明確に打ち出してもよいのではないか。
- ・地域の歴史、文化等については、各公民館でも講座を実施しており、そうした講座が充実していくとよい。
- ・魅力ある講座には受講者が集まるので、内容の検討が重要だと思う。

【協議後の感想】

<Aグループ>

太田委員	「公民館ビジョン」だけではわからないところがたくさんあったので、説明していただいてよくわかった。こうした方がよいのではないかという意見を言いやすくなっているような気がする。課題が何かということも資料に書かれてあって、頑張っていることがよくわかった。
富田委員	時間が足りないと感じた。内容が素晴らしいのでもっと聞きたいし、もっとPRしたい部分もあるかと思う。もう2、3分長くてもよいのかなと思った。ただ、長くすれば、公民館の方の話を聞く時間も長くなり、我々の体力も持たない。今日やってみて、勝手がわかってきたのですごくよかった。
山口委員	よいシミュレーションだった。できるだけ短い時間でコンパクトに内容が把握できて、ディスカッションができればよい。活字で見れば、大体概要がわかるところもあるが、やはり実際に生で話を聞くのが一番よくわかるし、説得力もある。

小森谷委員	実際に資料を見ながら、公民館の方から取組に対する思いを聞いたのが大変よかった。時間は長すぎるといろいろ質問等も出てきてまとまりがなくなると思うので、今日ぐらいの時間がよいのではないかと思う。
加藤（美）委員長	グループで分かれて2つの館の評価を同時に行えば、今日の2倍の時間話し合いができる。グループ別に評価を行ったとしても、あとで集まって共有すればよいと思う。 今回は資料が当日に配布されたが、事前に資料をいただければ、気になるところをあらかじめ把握するなどプレゼンを聞く準備ができる。

< Bグループ >

加藤（恒）委員	よいシミュレーションができたと思う。今回はうまくいった事例をお話いただき、それはそれで参考になったが、うまくいかなかったことを共有して、みんなでどうしたらよいかを考える機会にしたいと思うので、恐れずに、うまくいかなかったことを出していただけるとよい。 また、評価のあと、出た意見をどうやって他の館に共有していくかということまで今回シミュレーションできればなおよかったと思う。
加藤（美）委員長	事業をやるとうまくいかないことも多い。私たちはいろいろな団体などから来ているので、アドバイスもできると思う。アドバイスをもとに改善していただけると、公民館のビジョンに沿った事業が充実していくと思う。
磯田副委員長	Bグループは「人づくり」というところで、どういうイメージを持って作られているかということが、今回はひとつの事例だけだったのでわかりづらい部分があった。時間も事例ももう少し必要と感じた。なるべく誤解のないよう理解をした上で、いろいろな意見を言えたらよいと感じた。
加藤（美）委員長	評価結果が他の公民館にどのように波及されるのかということについて事務局で考えていることがあればお聞かせいただきたい。
事務局	会議録の共有と評価コメントを共有を行いたいと考えている。。

11 その他

次回の開催日時については委員長・副委員長と協議の上、後日通知すること、会場は生涯学習総合センター10階多目的ホールで開催予定であることを報告した。

12 閉会